

第8回

# 西アジアのイスラーム政権

監修・講師  
林 佳世子

## 学習のねらい

世界に大きな影響を与えたイスラーム教がどのように生まれ、拡大したのかを理解する。イスラーム教は、宗教としてどのような特徴をもつのだろうか。どうしてイスラーム教徒は支配域を急速に拡大させたのだろうか。また、征服された土地の人々は、どのようにイスラーム教徒になり、どんな文化を育んだのだろうか。私たちが持っているイスラーム教へのイメージを問い直し、西アジアにおけるイスラーム教の誕生と拡大を探究してみよう。

## イスラーム教の成立

keyword ムハンマド／アッラー／コーラン

現在、イスラーム教の信徒数は18億人以上といわれ、キリスト教につづき、世界で2番目に信徒数が多い宗教です。イスラーム教は、610年ごろにアラビア半島の都市メッカの商人ムハンマドにより創始されました。「預言者ムハンマドが唯一の神アッラーの啓示を受けた」と信じる点がイスラーム教の根幹です。啓示の言葉はのちに啓典コーラン（クルアーン）にまとめられました。イスラーム教の信仰は六信五行に要約されます。六信は、神、天使、啓典、預言者、来世、天命を信じることをいいます。五行は、神を信じることを唱える「信仰告白」、メッカにむけて行う「礼拝」、イスラーム暦の1か月間、日中の飲食を断つ「断食」、貧しい人に持てるものを行う「喜捨」、そしてメッカへの「巡礼」を指します。これらの実践にイスラーム教の特徴があります。実践の方法は、コーランとムハンマドの行いを指針にまとめられたイスラーム法という体系の中で定められました。豚肉を食べないことや女性が髪を隠すことなどもイスラーム法の中で定められています。ただし、イスラーム法は時代によりかわっていく体系でした。また、イスラーム教徒の暮らしは多様であったことにも注意が必要です。

## イスラーム政権の広がり

keyword カリフ／ウマイヤ朝／アッバース朝

メッカで迫害されたムハンマドは622年にメディナに移り、イスラーム共同体（ウンマ）をつくりました。その勢力はメッカを制圧し、イスラーム政権が成立しました。ムハンマドの

死後は、その後継者がカリフとしてウンマを指導しました。イスラーム教徒となったアラブ人はカリフの指揮のもと、アラビア半島全体、さらにシリアやエジプト、イランなどを征服し、広大な地域をイスラーム政権のもとに置きました。しかし、カリフ位をめぐる争いがおこり、それに勝利したウマイヤ家が世襲によるウマイヤ朝をたてました。ウマイヤ朝のもとでアラブ軍は、さらに征服を進め、西はイベリア半島、東は中央アジアまでを支配域に加えました。やがて、アラブ人の特権に対する反発などから各地で反乱がおこり、ウマイヤ朝に代わってアッバース朝が成立します。アッバース朝は、アラブ人の特権を廃し、イスラーム教徒になった改宗者からの人頭税の徴収をやめ、またアラブ人でも地租を払うこととし、イスラーム教徒の平等を実現しました。これによりイスラーム教への改宗がすすみました。ただし、西アジアの各地で人口の多数がイスラーム教徒になるまでには数世紀の時間がかかったことも忘れてはいけません。アッバース朝はバグダードを首都に栄えますが、やがてバグダードから遠い北アフリカ・エジプトにはファーティマ朝、中央アジアにはイラン系のサーマン朝やトルコ系のカラハン朝などが生まれ、イスラーム政権の政治的統一は失われていきました。

## イスラーム文明

keyword マドラサ／ウラマー／アラベスク／モスク

イスラーム教が広まった地域はいずれも高い文明を誇っていました。シリアやエジプトにおけるギリシア語による学問は、「知恵の館」などの機関でアラビア語に翻訳され、さらにインドやイランの学問と融合しました。また、イスラーム法学や伝承学、アラビア語の文法学などが、イスラーム教に固有の学問として発達しました。11世紀になると、マドラサと呼ばれる高等教育機関が生まれ、法学を中心とした学問をおさめたウラマー（宗教知識人）が養成されました。ウラマーは、各地を回って学問をおさめるなどし、イスラーム世界をまとめる役割を果たしました。一方、芸術の面では、唯一神アッラーや預言者ムハンマドを像や絵画で表すことが固く禁じられたため（偶像禁止）、アラビア文字や植物文様を使ったアラベスクが発達しました。また、礼拝のための施設として、各地の多様な伝統をとり入れたモスク建築が発達しました。このように、イスラーム文化には、イスラーム世界の共通性・一体性を示す面と、各地の多様性を示す面との両面があることに注意しましょう。



### 探究のヒント

- ① 「コ・コ・タ・ネ」で紹介したのは、アダムとイブを描いた画像です。アダムとイブは旧約聖書にでてくる話ですが、旧約聖書の内容はイスラーム教にも取り入れられています。イスラーム教は、ユダヤ教やキリスト教とどのような関係にあったのか、調べてみましょう。
- ② 「コ・コ・タ・ネ」の画像を見て、イスラーム教では絵画は禁止されていたはず、と思ったかもしれませんが、偶像禁止の原則から公の場に絵画を飾ることは避けられましたが、実は、本の挿絵などには絵画が用いられ、各地のイスラーム政権のもとで、すぐれた挿絵入りの本がつくられました。歴史の場面や君主の姿なども多く描かれています。どんな時代に、どんな挿絵が描かれたのか、調べてみましょう。
- ③ 番組では、イスラーム教徒の暮らしは時代によって変わってきているという話をしました。たとえば、女性のスカーフは抑圧の象徴であると同時に、おしゃれなファッションの一部でもあります。どんなスカーフ姿があるのか、調べてみましょう。